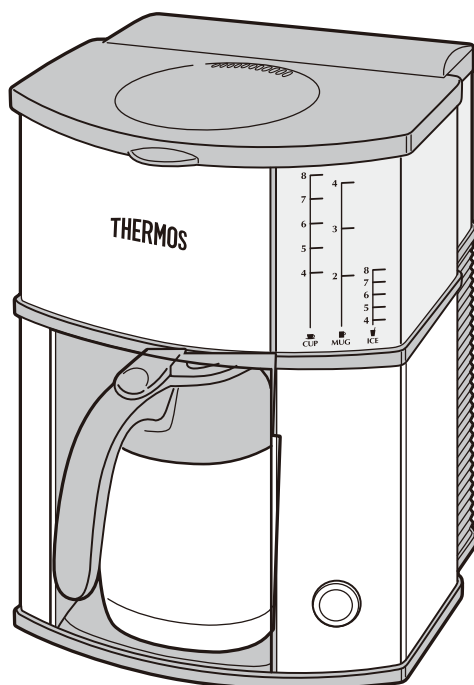
サーモス 真空断熱ポット コーヒーメーカー

品番：ECD-1000

取扱説明書

一般家庭用

このたびは、サーモス「真空断熱ポット　コーヒーメーカー」をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。そして、いつでも取り出せるところに大切に保管し、ご使用上で不明な点などをご確認ください。

保証書付き　保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

市販のペーパーフィルターは、4～7人用（サイズ103または1×4）を使用してください。

目　次

各部のなまえとはたらき

付属品

● 計量スプーン（1個）

すり切り
1杯7g

● メッシュフィルター（1個）

● ペーパーフィルター（3枚）

※市販の4～7人用（サイズ103または1×4）を使用してください。

ご注意とお願い　ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

表示	意味
⚠警告	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠注意	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

図記号	意味
禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止 水ぬれ禁止	してはいけない内容（禁止）を表しています。
必ずおこなう 差し込みプラグを抜く	必ずお守りいただく内容を表しています。

安全上の注意

⚠警告

子供だけで使用させないでください。また乳幼児の手の届くところで使用しないでください。　禁止

やけどや感電、けがの原因になります。

電源コードや差し込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。　禁止

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

分解・修理・改造は絶対にしないでください。　分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。
（修理はお買上げの販売店、または「お客様相談室」にご相談ください。）
【☞P.19】

電源コードは傷つけたり、破損したまま使用したりしないでください。　禁止

加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなどの扱いは、火災・感電の原因になります。

電源は交流100V（ボルト）以外を使用しないでください。　禁止

火災・感電の原因になります。

定格15A（アンペア）以上のコンセントを単独で使用してください。　必ずおこなう

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火・感電の原因になります。

差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。　必ずおこなう

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

安全上の注意

⚠警告

ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しをしないでください。

感電・けがの原因になります。

ぬれ手禁止

差し込みプラグの刃（プラグ先端）および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭き取ってください。

火災の原因になります。

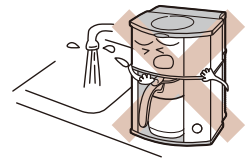
必ずおこなう

ドリップ中やドリップ後しばらくは、蒸気口・フタ・ドリッパーなどの高温部にふれたり、顔などを近づけたりしないでください。

やけどの原因になります。

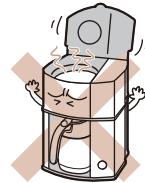
接触禁止

流し台など、水にぬれやすい場所やぬれている場所には置かないでください。

ショート・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

ドリップ中はフタを開けないでください。

やけどの原因になります。

禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

ポットは電磁調理器（IHクッキングヒーター）で使用しないでください。

やけど・破損の原因になります。

禁止

ポットは絶対に火にかけないでください。

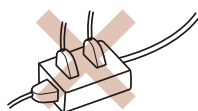
ハンドルに火が燃え移り、火災の原因になります。

禁止

⚠注意

タコ足配線はしないでください。

火災の原因になります。
必ず定格15A(アンペア)以上のコンセントを単独で使用してください。

禁止

必ず差し込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。

感電・ショート・発火・火災の原因になります。

必ずおこなう

⚠注意

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

やけどやけが、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

ポットなしで使用しないでください。

コーヒーがあふれて、やけどやテーブルなどを汚す原因になります。

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。 禁止

やけどや変形、故障の原因になります。

ポットはハンドルを正面に向けて本体にセットしてください。 必ずおこなう

コーヒーがこぼれて、やけどやテーブルを汚す原因になります。

不安定な場所や、熱に弱いテーブル・敷物などの上で使用しないでください。 禁止

火災やテーブル・敷物の変色・変形の原因になります。

空だき（給水タンクに水を入れずにスイッチを押す）はしないでください。 禁止

空だきの状態で給水タンクに水を入れると、蒸気が噴出してやけどや変形、故障の原因になります。

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しないでください。 禁止

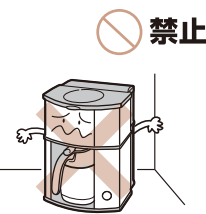
火災・故障・変色・変形の原因になります。

給水タンクに水を入れて持ち運ぶ際は、揺らしたり傾けたりしないでください。 禁止

漏れてものを汚す原因になります。

壁や家具の近くで使用しないでください。 禁止

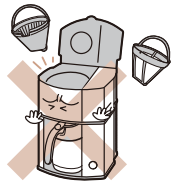
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。キッチン用収納棚などで使用する際は、中に蒸気がこもらないようご注意ください。

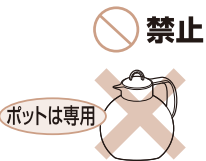
給水タンクに CUP 目盛「8」以上の水を入れないでください。 禁止

コーヒーがあふれて、やけどや故障、テーブルなどを汚す原因になります。

ポットをセットした状態で本体を動かさないでください。 禁止

やけど・けがの原因になります。

ドリップする際は、ドリッパー・フィルターを必ずセットしてください。 必ずおこなう

コーヒーがこぼれて、やけどやテーブルを汚す原因になります。

専用のポット以外は使用しないでください。 禁止

コーヒーがドリッパーからあふれて、やけどや故障の原因になります。

続けて使用するときは、本体が冷めるまで（約5分）待ってください。 必ずおこなう

すぐにフタを開けたり、本体を動かしたり、給水タンクに水を入れたりすると、蒸気が噴出してやけどの原因になります。

⚠注意

お手入れは、本体が冷めてからおこなってください。 必ずおこなう

高温部にふれると、やけどの原因になります。

お手入れは冷めてから

ドリッパー・メッシュフィルター・給水タンク・ポット・中せんは煮沸しないでください。 禁止

熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。

食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。 禁止

熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。

ポットの中せんは3つのパッキンを正しく取り付けてください。またレバーとハンドルがそろう位置まで確実に閉めてください。 必ずおこなう

【☞P.8・13】

漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

ポットの中せんを組み立てた後は、レバーを数回押し、シャフトが正常に動くことを確認してください。 必ずおこなう

正しく組み立てられていないと、作動不良や漏れてやけどやものを汚す原因になります。

ポットに熱いコーヒーを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

- **直接飲まないでください。** 禁止

  やけどの原因になります。

- **傾けた状態、または顔などを近づけた状態で中せんのレバーを絶対に押さないでください。** 禁止

  コーヒーが勢いよく出てやけどなどの原因になります。

- **カップなどに注ぐときはポットを急に傾けないでください。** 禁止

  コーヒーが勢いよく出てやけどなどの原因になります。

- **中せんを取りはずすときは、いったんレバーを押して、蒸気を逃がしてから取りはずしてください。** 必ずおこなう

  コーヒーや蒸気が勢いよく出て、やけどなどの原因になります。

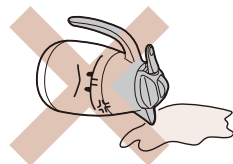
ポットにコーヒーを入れた状態で長く放置しないでください。 禁止

腐敗や変質の原因になります。
また、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せんが開かなくなったり、飲みものが吹き出たり、中せんが破損して飛散することがあり危険です。

コーヒーを注ぐ際は、ポットをまっすぐ立てた状態で中せんのレバーを押してから注いでください。 必ずおこなう

ポットを傾けた状態でレバーを押すとコーヒーや蒸気が勢いよく出て、やけどの原因になります。

ポットは横転させないでください。 禁止

漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

⚠注意

ポットに次のものは絶対に入れないでください。

●ドライアイス・炭酸飲料　禁止

飲みものが吹き出たり、中せんが破損することがあり危険です。

●牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの　禁止

腐敗や変質の原因になります。

●みそ汁・スープなど塩分を含んだもの　禁止

本体内側は18-8ステンレス鋼を使用していますが、塩分によりさびる原因になります。

●お茶の葉・果肉　禁止

注ぎ口やすきまなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

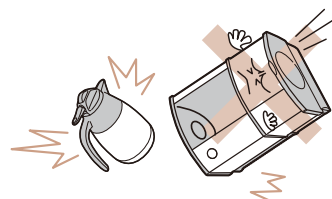
ポットは電子レンジで使用しないでください。　禁止

スパークして電子レンジが故障する原因になります。
またポットが変形・破損する原因になります。

ポットは中せんのレバーを押した状態で持ち運んだり、キャップ・レバーを持って運んだりしないでください。　禁止

やけどや中せんの破損の原因になります。

倒す・落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。　禁止

漏れ・ショート・感電の原因になります。
また給水タンクから水が漏れてものを汚す原因になります。

アイスコーヒーを作る際は、大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。　必ずおこなう

ポットの口元などが変形して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

使用上のお願い

コーヒーの風味や保温・保冷効果を損なわないため、ドリップ後はポットを本体から取り出してください。 必ずおこなう	**業務用として使用しないでください。** 禁止 故障の原因になります。
給水タンクに水を入れたまま放置しないでください。 禁止 故障や変色・においの原因になります。	**給水タンクに水以外のもの（お湯・牛乳など）を入れないでください。** 禁止 変形など故障の原因になります。
本体にふきんなどをかぶせないでください。 禁止 変形の原因になります。	**中せんを取り付けたり取りはずしたりする際は、キャップを持って行なってください。** 必ずおこなう レバーを持って行なうと破損の原因になります。
コーヒー粉は粗挽き・中挽きなどコーヒーメーカーに適したものを使用してください。 必ずおこなう 細挽きのコーヒー粉を使用すると、コーヒー粉がドリッパーからあふれたり、フィルターに詰まったり、ポット内のコーヒーに混入したりする原因になります。	

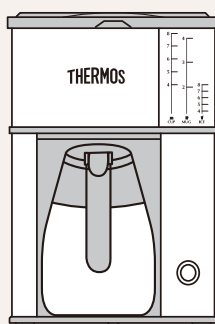
使い方とポイント

●この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉と表記しています。
●はじめてご使用になるときや、長期間使用せずに保管されていたときは、本体以外の部品を洗い【☞P.15】コーヒー粉やフィルターを使用しないで、水だけで下記使い方①、②、⑤、⑥、⑦の手順通りに数回ドリップしてください。
●使いはじめのうちは樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

1 ポットを本体にセットする

① ポットの中せんをレバーとハンドルがそろう位置まで閉めます。

② ポットをハンドルが正面を向くようにして、本体のポット台の奥まで確実にセットします。

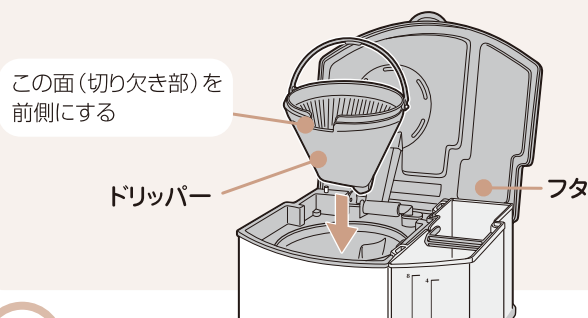
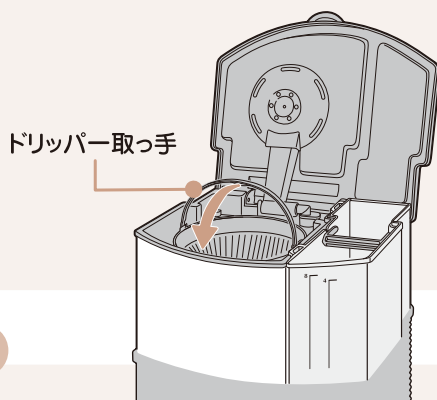
ポット容器に少量の熱湯を入れ、1分程度予熱すると保温に効果的です。

■必ず専用のポットを使用してください。

2 本体のフタを開け、ドリッパーをセットする

① フタを開け、ドリッパーをセットします。

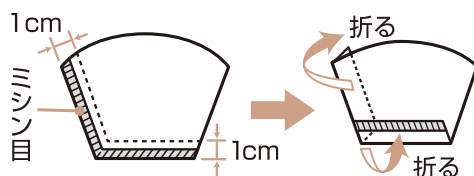
この面（切り欠き部）を前側にする

ドリッパー

フタ

② ドリッパー取っ手を手前に倒します。

3 フィルターをドリッパーにセットする

フィルター（メッシュフィルターまたはペーパーフィルター）をドリッパーに沿わせてセットします。

■メッシュフィルターを使用する場合、ペーパーフィルターは不要です。

ペーパーフィルターを使用する際は、ミシン目から約1cm内側を図のように折ります。

■市販の4～7人用（サイズ103または1×4）を使用してください。

4 コーヒー粉をフィルターに入れて、上面をならす

付属の計量スプーンでコーヒー粉をフィルターに入れて、上面を平らにならします。

■粗挽き・中挽きのコーヒー粉を使用し、細挽きのものは使用しないでください。

コーヒー粉を入れる目安

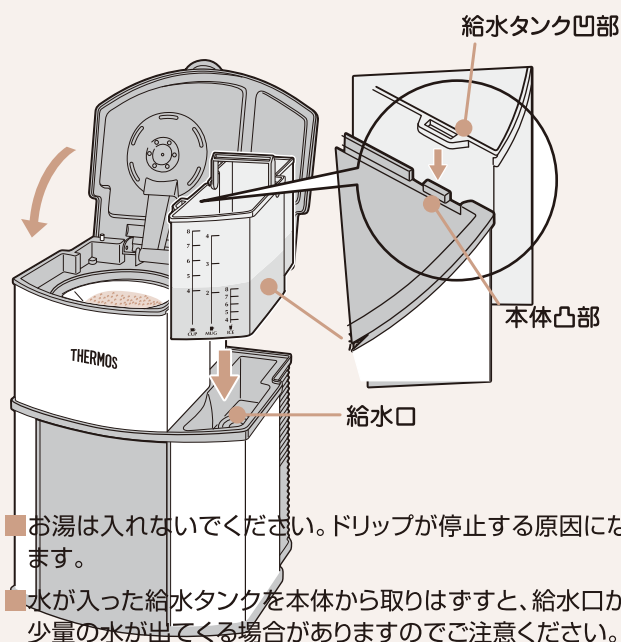
CUP／MUG（カップ数）	4杯／2杯	6杯／3杯	8杯／4杯
コーヒー粉（計量スプーンすり切り7g）	4杯（28g）	6杯（42g）	8杯（56g）

■カップ1杯約110ml、マグ1杯約210mlができ上がりの目安です。コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。

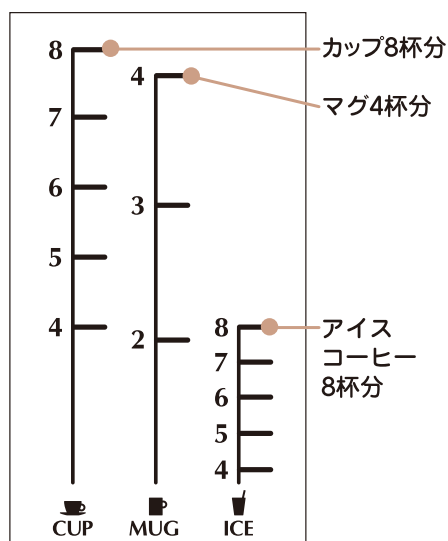
5 給水タンクに水を入れて本体にセットし、フタを閉める

① 給水タンクを取りはずし、作りたいコーヒー量の目盛まで水を入れます。

② 給水タンクを本体に差し込み、本体凸部に給水タンク凹部がはまるまで、確実にセットします。

③ フタを閉めます。

■お湯は入れないでください。ドリップが停止する原因になります。

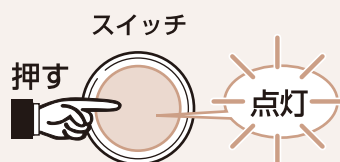
■水が入った給水タンクを本体から取りはずすと、給水口から少量の水が出てくる場合がありますのでご注意ください。

給水タンクの目盛

■水はCUP目盛「8」より多く入れないでください。
コーヒーがあふれて、テーブルなどを汚す原因になります。

6 差し込みプラグをコンセントに差し込む

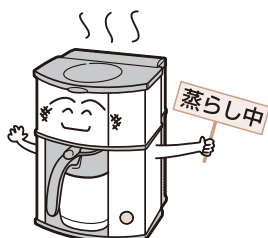
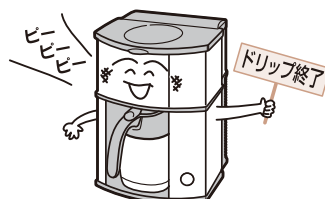
差し込みプラグを持って、奥まで確実に差し込みます。

7 スイッチを押す

フタが閉まっていることを確認し、
スイッチを押します。

スイッチについて

スイッチを押すとドリップが始まります。途中で止めたい場合は、もう1回スイッチを押してください。

■以下の場合はスイッチを押しても作動しません。
- ●ランプ点滅時
- ●ドリップ終了(ランプが消えた)後、ヒーターが冷めるまでの間
- ●フタが開いているとき

スイッチを押すとランプがつきます。
またドリップ開始から1分後に蒸らし機能がはたらき、約1分間ドリップを中断します。

ドリップ終了3分前になるとランプが点滅します。ドリップが終了するとランプが消えて、ブザーが鳴ります。

■ドリップ中にフタを開けるとドリップが停止します。
その場合はフタを閉めてスイッチを押してください。

できあがり(ランプが消える)時間の目安

CUP カップ数	4杯	6杯	8杯
時　間	約7.5分	約10分	約12分

できあがり時間は水温などにより前後します。

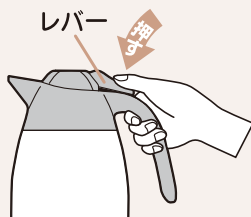
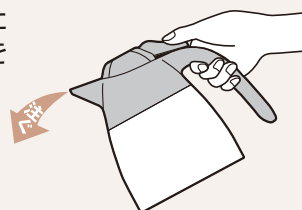
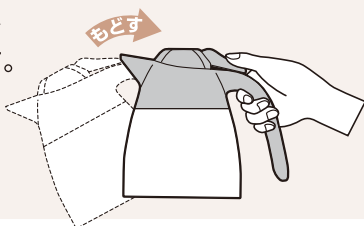
8 できあがったら

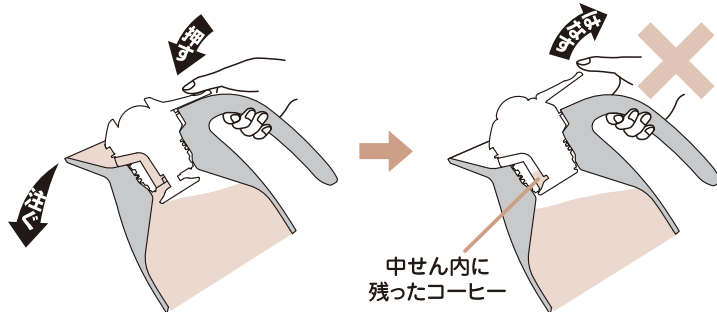
ランプが消えていることを確認し、
ポットを取り出します。

■ドリップ中やドリップ後しばらくは、蒸気口・フタ・ドリッパーなどの高温部にふれたり、顔などを近づけたりしないでください。やけどの原因になります。特に乳幼児にはご注意ください。

使い方とポイント

9 コーヒーをカップに注ぐ

①ポットのハンドルを持ち、本体を立てた状態でレバーを押します。

②レバーを押したままコーヒーを注ぎます。

③注ぎ終わったら本体を立てた状態にもどします。

④レバーをはなします。

■注いだ後、ポットを傾けた状態でレバーをはなすと、中せん内にコーヒーが残り、漏れややけどの原因になりますのでご注意ください。

■ドリップ直後のポット内のコーヒーは高温になっていますので、お飲みの際はやけどにご注意ください。

■ポットは真空断熱構造ですが、コーヒーは時間の経過や内容量の減少にともない冷めていきますので、お早めにお飲みください。

10 ご使用後は

①本体が冷めてから（ランプが消えてから5分以上経過後）フタを開け、ドリッパーを取り出して、コーヒー粉を捨てます。

②フタを閉めます。

③コンセントから差し込みプラグを抜きます。

11 続けて作るときは…

①本体が冷めるまで（約5分後）待ちます。

②P8～P11の手順で再度ドリップします。

■すぐに水を入れたり、動かしたりしないでください。蒸気が噴出してやけどの原因になります。

Point!
コーヒーをおいしく味わうためのポイント

■コーヒーを豆で購入する場合
煎ってから時間がたつと香りがとびやすいので、1週間から10日程度で使い切る量を購入しましょう。
また飲むたびに必要な分だけミルで挽いてドリップするとよいでしょう。

■コーヒー豆やコーヒー粉を保存するとき…
コーヒー豆やコーヒー粉は高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密閉容器に入れて冷暗所で保存しましょう。

■保温効果を高めるために…
ポットはあらかじめ少量の熱湯で予熱すると効果的です。
少ないカップ数で作ると、ポット内のコーヒーが冷めやすくなりますので、コーヒーは多めに作ってください。

アイスコーヒーの作り方

ホットコーヒーと同じ手順で作ります。【☞P.8～P.11】
アイスコーヒーはアイスコーヒー用の粉、または深煎りのコーヒー粉を使用し、濃いめに作ります。

コーヒー粉・水・氷の量の目安		
コーヒー粉 （計量スプーンすり切り7g）	水	氷
約8杯（56g）	ICE 目盛8	ポットの6～7分目

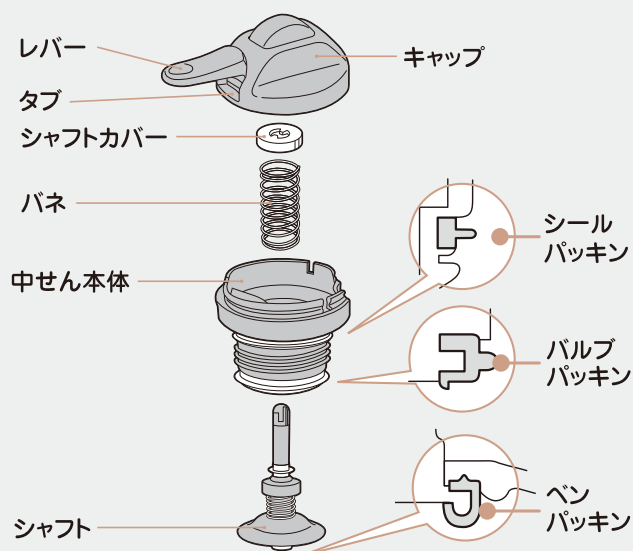
■コーヒー粉と氷の量は目安ですのでお好みにより加減してください。

■水は ICE 目盛8より多く入れないでください。ポットに氷が入っているため、コーヒーがあふれて、テーブルなどを汚す原因になります。

①ポットに氷を入れて中せんを取り付け、ポット台にセットします。
②本体のフタを開け、ドリッパーとフィルター（メッシュフィルターまたはペーパーフィルター）をセットします。
③コーヒー粉をフィルターに入れて、上面を平らにならします。
④給水タンクに水を入れて、本体にセットします。
⑤フタを閉め、スイッチを入れてコーヒーをドリップします。
⑥ランプが消えたことを確認しポットを取り出します。
⑦ポットを左右に軽く振って1～2分置いてから、氷を入れたグラスに注ぎます。

中せんについて

中せんはシャフトをはずして洗うことができます。中せんを組み立てた後は、レバーを数回押し、シャフトが正常に動くことを確認してください。

各部のなまえとパッキンの取り付け方

パッキンは図の位置に全周にわたってはめ込みます。
取り付けた後は、パッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。

■バルブパッキンとベンパッキンはシャフトをはずすと取り付けやすくなります。

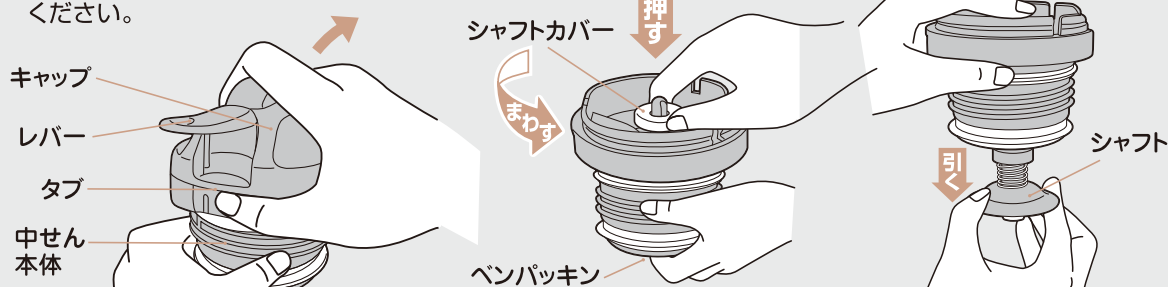
■正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

シャフトのはずし方

① タブに親指をかけて押し上げ、中せん本体からキャップをはずします。

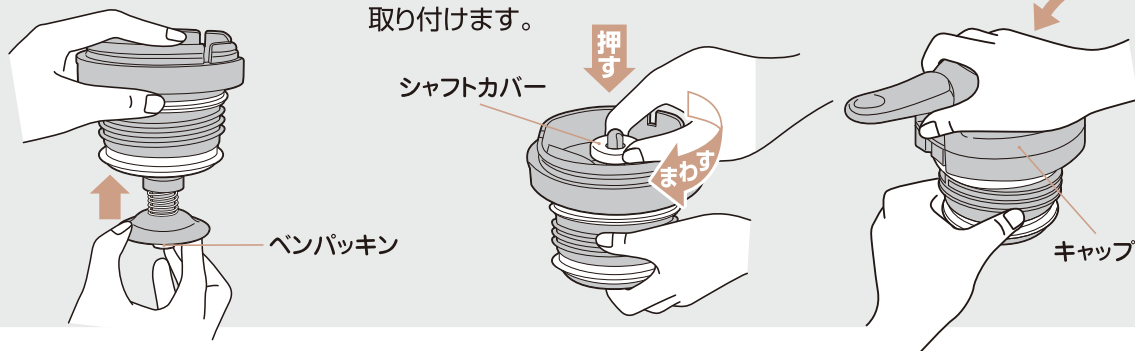
■レバーを持ってはずさないでください。

② ベンパッキンを指で押さえながら、シャフトカバーを押し下げた状態で90度左方向にまわします。

③ シャフトカバーとバネをはずし、シャフトを下に引いてはずします。

シャフトの取り付け方

① ベンパッキンを押さえながらシャフトを中せん本体に差し込みます。

② バネ、シャフトカバーの順にセットし、シャフトカバーを押し下げた状態で90度右方向にまわし、シャフトに取り付けます。

③ キャップを中せん本体に取り付けます。

こんなときは… 分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
スイッチを押してもランプがつかない	コンセントから差し込みプラグがはずれている	差し込みプラグはコンセントに確実に差し込んでください。【☞ P.10-⑥】
	フタが開いている	フタが開いていると、スイッチを押しても作動しません。フタを閉めた状態でスイッチを押してください。【☞ P.10-⑦】
	ドリップ終了直後にスイッチを押している	ドリップ終了後、本体が冷めるまではスイッチを押しても作動しません。本体が冷めるまで（約5分）待ってください。
ドリップができない **コーヒーができない**	給水タンクに水が入っていない	給水タンクに水を入れてください。【☞ P.9-⑤】
	フィルターにコーヒー粉が入っていない	フィルターにコーヒー粉を入れてください。【☞ P.9-④】
	スイッチが入っていない・ランプがついていない	スイッチを入れて、ランプがついたことを確認してください。【☞ P.10-⑦】
ドリップに時間がかかる	湯あかが付着し、お湯の出が悪くなることがあります。本体内部をお手入れする際は… の要領で湯あかを取り除いてください。【☞ P.16】	
ポットからコーヒーがあふれる	給水タンク内の水量が多すぎる	水は給水タンクの CUP 目盛「8」より多く入れないでください。【☞ P.9-⑤】
コーヒーがポットの外にドリップされる	ポットをポット台に正しくセットしていない	ポットは中せんを正しく取り付け、ハンドルが正面を向くようにポット台の奥まで確実にセットしてください。【☞ P.8-①】
中せんからコーヒーが漏れた	中せん内部にコーヒーが残っている	ポットを立てた状態でレバーを押して、注ぎ残しのコーヒーを戻してください。【☞ P.11-⑧】
	パッキンがはずれている、確実に取り付けられていない、または逆向きに取り付けられている	3つのパッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。【☞ P.13】
	中せんやパッキンが消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【☞ P.17】
コーヒーがぬるい **保温が効かない**	コーヒーの量が少ない	コーヒーは多めに作ってください。また、あらかじめポット容器内側を予熱しておくと効果的です。【☞ P.8-①】
	長時間保温している	ポットは真空断熱構造ですが、時間の経過や内容量の減少にともない冷めていきますので、お早めにお飲みください。
中せんのレバーが戻らない	シャフトがはずれている	シャフトを正しく取り付けてください。【☞ P.13】
	中せんが破損・消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【☞ P.17】
ポット容器内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。【☞ P.14】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯をポット容器に入れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯をポット容器に入れ、中せんを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
ブザーが鳴りやまない	故障を知らせるブザー音です。差し込みプラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店、またはお客様相談室へご相談ください。【☞ P.19】	

※上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、「お客様相談室」にご相談ください。【☞ P.19】

お手入れ方法

臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

■お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。

■汚れが落ちない場合は、下表に従って漂白剤（目安:30分）を使用してください。

■コーヒーかすが本体・部品に残っていると酸化し、次に使用するときにコーヒーの風味を損なう原因になりますので、すみずみまでていねいにお手入れをしてください。

■長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
コーヒーメーカー本体	○ 布で拭き取り × 流水洗い × つけ洗い × 漂白剤	洗剤をやわらかい布に含ませ、かたくしぼって拭いた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。
メッシュフィルター	○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
中せん	○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	きれいに洗い、水滴が残らないように数回振った後、十分乾燥させてください。 中せんはシャフトをはずして洗うことができますので、お手入れの後は正しく組み立ててください。【☞P.13】 また、3つのパッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。【☞P.13】
給水タンク・ドリッパー・ポット容器（内側）	○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 × 塩素系漂白剤	ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、十分乾燥させてください。 ※給水タンクは必ず本体から取りはずしてからお手入れしてください。 ポット容器に酸素系漂白剤を使用する場合、中せんで密閉しないでください。 ＊ポット容器の内圧が上がり、中せんが飛び出すなど危険です。
ポット容器（外側）	○ 流水洗い × つけ洗い × 漂白剤	きれいに洗い、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。

お手入れ上の注意

●お手入れは、本体が冷めてからおこなってください。
＊高温部に触れると、やけどの原因になります。

必ずおこなう

●本体は水につけたり、水をかけたりしないでください。
＊ショート・感電の原因になります。

禁止

●ドリッパー・メッシュフィルター・給水タンク・ポット・中せんは煮沸しないでください。
＊熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。

禁止

●食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
＊熱により部品が変形し、漏れてものを汚す原因になります。

禁止

●シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
＊傷やさびなどの原因になります。

禁止

●ドリッパー・給水タンク・ポット・中せんは塩素系漂白剤を使用しないでください。
＊傷やさび、保温・保冷不良などの原因になります。また中せんの故障の原因になります。

禁止

●ポット容器の外側は漂泊剤を使用しないでください。
＊塗装・印刷・シールなどのはがれの原因になります。

禁止

●ポット容器は水中に放置しないでください。
＊すきまに水が浸入し、さびや保温・保冷不良などの原因になります。

禁止

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れしてください。本体内部にカルシウムが付着しやすくなったり、付着したカルシウムがはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。
【☞P.16 本体内部をお手入れする際は…】

本体内部をお手入れする際は…

湯あかが付着し、お湯の出が悪くなることがあります。次の方法で取り除いてください。

❶ ピッチャーなどの容器にクエン酸約12g（小さじ2杯）と水約900mlを入れてよく混ぜます。
❷ ①を給水タンクに入れて、給水タンク・ドリッパー・ポットを本体にセットし、スイッチを入れてドリップします。
❸ ドリップが終わったら、ポットを取り出してクエン酸水を捨てます。
❹ ポットをセットし、本体が冷めたら（約5分後）、水だけでドリップしてクエン酸のにおいを取ります。
（においが取れない場合は、④を数回くり返します。）

※ クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害です。

仕　様

品　　　名	真空断熱ポット コーヒーメーカー
品　　　番	ECD-1000
電　　　源	交流100V　50/60Hz
消費電力	700W
抽出方式	ドリップ式
保温装置	無し
容　　　量	1000ml
外形寸法	幅24×奥行24（ポットハンドル部含む）×高さ36cm
質　　　量	約 3.3kg（ポット含む）
電源コードの長さ	約 1.5m

交換用部品のご案内

■本製品の各部品は下表の部品名で別売しています。

各部のなまえ	部　品　名	メーカー希望小売価格（税込）
ポット（中せん付き）	ECD ポット	4,200円
中せん	ECD 中せん	735円
中せん パッキンセット（シールパッキン・バルブパッキン・ベンパッキン各1個ずつ）	ECD 中せんパッキンセット	315円
給水タンク	ECD 給水タンク	1,050円
ドリッパー	ECD ドリッパー	735円
メッシュフィルター	ECD メッシュフィルター	525円
計量スプーン	ECC 計量スプーン	315円

◆中せん、パッキン類は消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面にザラつきや損傷のある場合は、交換してください。

【交換用部品のお求め方法】

①インターネット取り寄せ

http://www.thermos.jp/からお求めください。（取り扱い商品が限られておりますが、ご了承ください。）

②販売店取り寄せ

サーモス・コーヒーメーカーを取り扱っている販売店で、品番・部品名・数量をご確認の上、お求めください。

③お客様相談室取り寄せ

お電話でお申し込みください。【☞ P.19】

※部品価格は改訂させていただく場合がございます。

保証とアフターサービスについて 必ずお読みください

■修理を依頼される前に「P.16こんなときは…」をお読みになり、お確かめください。
■不具合が改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室」にご相談ください。【☞P.19】

保証書の内容のご確認と保管のお願い

●保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。
●保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。また内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間、保証対象はコーヒーメーカー本体のみです。
消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

ご相談の際は次の事をお知らせください。
①品名　②品番　③製品の不具合状況（できるだけ詳しく）

保証期間内……………………… 製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
または「お客様相談室」にご相談ください。
保証書の規定により無料修理いたします。

保証期間を過ぎているとき… 修理できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。
お買い上げの販売店、または「お客様相談室」にご相談ください。

部品について

●コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は**製造打ち切り後5年**です。
（補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。）
●製造時期は本体裏側に表示されています。修理のために取りはずした部品は、特別のお申し出がない場合は弊社に引き取らせていただきます。

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

愛情点検

●ご使用中電気コードや差し込みプラグが異常に熱い。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●いつもより異常に熱くなったり、コゲ臭いにおいがする。
●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
●本体から水が漏れる。
●その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、差し込みプラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店、または「お客様相談室」へご相談ください。
【☞P.19】

サーモス 真空断熱ポット コーヒーメーカー保証書

品番	ECD-1000	保証対象	本体のみ	保証期間	お買い上げ日より1年
★お客様	お名前　様	★お買い上げ日	年　月　日		
	ご住所 〒	★販売店	住所・店名		
	☎		☎		
修理メモ					

無料修理規定

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご用意の上、お買い上げの販売店、または「お客様相談室」に修理をご相談ください。
修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がない場合は無効です。 本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料になります。
   (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、虫害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   (ニ) 本書のご提示がない場合。
   (ホ) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   (ト) ご使用による汚れ、キズ。
   (チ) 消耗部品の交換。

2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

3. ご転居の場合や、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記「お客様相談室」へご相談ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いまして、この保証書により、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記お客様相談室へご相談ください。

お問い合わせ

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

THERMOS
QUALITY SINCE 1904
サーモス株式会社
〒105-8404
東京都港区西新橋1-16-7 大陽日酸新橋ビル

お客様相談室
TEL. 0256-92-6696
■受付時間：月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
9:00～12:00／13:00～17:00
〒959-0215　新潟県燕市吉田下中野1435番地

●製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

※お預かりした個人情報は、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に開示提供することはございません。なお、お客様の個人情報はサーモス（株）にて管理させていただきます。

0109